

## 広域連合長選挙で

# 新久慈広域連合長に久慈市長

前久慈広域連合長であった久慈市長の任期満了に伴い、五月十二日、久慈市役所特別会議室において構成市町村長による久慈広域連合長選挙が行われ、久慈市長山内隆文氏（52）が当選しました。

## 市町村長による選挙

広域連合長の選任は、久慈広域連合規約第十二条により、「構成市町村長の投票で選挙す

ること」と定められています。

広域連合長選挙は長の任期満了ごとに行うこととなっていることから、広域連合長を務めていた前久慈市長の任期満了に伴い、広域連合長選挙が行われま

した。

五月十二日に久慈市役所の特別会議室で行われた広域連合長選挙では、出席した六市町村長の満場一致で久慈市長の山内隆文氏が当選を果たしました。

新久慈広域連合長の任期は久慈市長としての任期となつていきます。

副広域連合長は、同じく規約の定めにより、広域連合長以外の町村長が務めます。

山内広域連合長は選出後のあいさつで、「みなさんと協議しながら介護保険等の運営に万全を期したい」と語り、久慈広域の介護保険行政への協力を求めました。

## 副広域連合長の紹介



# 心豊かで笑顔あふれる地域づくり

長雨の季節となりました。住民の皆様には、各方面で活躍のことと存じます。



このたび広域連合長選挙におきまして、久慈広域連合長に当選就任し、今後四年間、久慈広域の介護保険行政を担うこととなりました。

責任の重さをあらためて痛感するとともに、身の引き締まる思いで決意を新たにしております。

さて、久慈広域は経済不況の

あおりを受け、かつてない厳しい行財政環境の中にあり、産業の活性化をはじめとした、雇用の拡大など緊急の課題が山積しております。

一方、介護保険制度が定着すると共に、利用者も増大する傾向にあります。

超高齢化社会を迎え、介護を必要としている方が今後ますます

す増えることが予想される今日、介護保険制度の一層の充実が期待されているところであります。

第二期介護保険事業計画が平成十五年度から始まり、全国的に介護保険料の引き上げのニュースが流れる中、当広域連合では現在の保険料としたところでありますが、在宅サービス利用の推進や施設入所希望者への対応など、いまだ様々な課題が残されております。

これらの諸課題を解決するため、関係六市町村と連携協力を

して、地域の特性を生かした「心豊かで笑顔あふれる地域づくり」に、全力で取り組む決意であります。

住民の皆様には、快適な生活の実現を目指すため、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任にあたってのごあいさついたします。

久慈広域連合長

山内隆文